

令和5年度 下野三楽園 運営方針及び事業計画

1 運営方針

児童福祉法第1条で「全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有する。」と規定され、児童憲章では、「児童は、人として尊ばれる。児童は、社会の一員として重んぜられる。児童は、良い環境の中で育てられる。」とうたわれている。

また、児童の権利に関する条約第3条では、「児童に関するすべての措置をとるに当たっては、児童の最善の利益が主として考慮されるものとする。」と規定されている。

これらを踏まえて、社会福祉法人下野三楽園では、社会的養育を担う児童養護施設として、

- (1) 児童の健やかな発達に必要な家庭機能が十分発揮されるよう努める。
 - (2) 児童と職員が一体となった施設づくりに努める。
 - (3) 児童の保護者・関係機関及び地域社会との連帯の中で児童の養育に努める。
- の3つを基本方針とし、
「慈悲」・「智慧」・「勇猛」養育の3つの柱のもと、児童の健やかな心身の発達と自立に向けた支援に努める。

2 事業計画

(1) 法人事業

評議員会並びに役員会（理事会）の適正開催

(2) 施設運営事業

① 児童支援

- ア 年間指導計画 別紙1
- イ 年間行事計画 別紙2
- ウ 子どもの権利擁護の取り組み
- エ 退所児童への相談・支援

② 地域連携・交流

ア 地域団体との連携・交流

イ 地域の子育て相談

ウ ボランティア及び実習学生の受け入れ、里親支援

③ 施設管理

ア さんらくえん通信の発行及びホームページによる広報の充実

イ 各種会議・委員会の活動

ウ 児童養護施設運営指針に基づく第三者評価の受審

エ リスクマネジメント

オ 災害防止

④ 職員管理

ア 人材の確保と育成

イ 職員の教育研修

⑤ 分園型小規模グループケアの整備

(3) 公益事業

とちぎユースアフターケア事業の実施

部門別支援方針

○ 小規模居室単位での支援

できる限り家庭的な環境の中で、職員との個別的な関係を重視したきめ細かな支援により、児童の穏やかで安心した生活を目指す。

○ 個別指導

入所児童の半数以上が虐待を受けた体験をしており、身体的・精神的配慮が必要とされている。また、発達障害等も併せて持つなど指導困難な児童も増えているので、支援等を通して信頼関係の構築を行うとともに、児童相談所や学校など関係機関との連携を密にし健全な児童の育成を目指す。

- ・個別面談および面接の実施
- ・日常生活場面や問題行動への個別的指導
- ・児童相談所、学校との3者の情報の共有による指導

○ 心理療法

養育者から受けた虐待、不安定な家庭環境、保護者と離れた暮らしによって児童が抱える喪失感、先の見えない不安、自己肯定感の低さ、行き場のない欲求不満や親への怒りなどを安全な形で表現・言語化することを目指す。

箱庭や人形を用いた再現遊び、粘土や描画・面談を通して、一人では向き合うのが困難な感情を意識的に統合し児童が成長する力を支える。

○ 親子関係の再構築支援

虐待等の家庭環境上の理由により分離されている入所児童の保護者に対し、児童相談所との密接な連携のもとに児童の早期家庭復帰・里親委託等を可能とするための相談援助等の支援を行い、親子関係の再構築を図る。

- ・入所前養育状況の調査、入退所時の立ち合い
- ・児童相談所との連携
- ・子どもと親との連携調整、関係改善
- ・里親委託事業への参加

○ 自立支援

入所している児童の多くは、18歳になり高校等の卒業と同時に退所となるが、精神的・経済的に未熟なこれらの児童が社会に出て安定した生活を営むためには、基本生活習慣や社会性をきちんと身に付ける必要があるため、それらを向上させるための訓練を行って自立を支援する。

- ・自立促進事業の実施
- ・調理実習
- ・社会奉仕作業、アルバイト等への積極的参加と促進
- ・とちぎユースアフターケア事業協同組合、自立支援プログラムへの参加
- ・退所児童への相談・支援

令和 5 年度 年間指導計画

下野三楽園 「養育 3 つの柱」

- 1 慈 悲 思いやる心
- 2 智 慧 正しい心
- 3 勇 猛 強い心

養育目標

- 1) 健康で気力・意欲のある児童 (心身の調和的発達)
- 2) 素直さ・優しさを持った児童 (情緒の安定)
- 3) 正しい見方・考え方のできる児童 (性能の自主伸長)

指導の領域

- 1) 身体 の健康増進
- 2) 基本的生活習慣の確立
- 3) 自己の確立
- 4) 社会性の確立
- 5) 性に対する正しい関心と知識
- 6) 情緒の安定
- 7) 学力の向上

月間重点目標

- | | | | |
|----|---|-----|--------------|
| 4 | ・ | 5月 | 挨拶をしよう |
| 6 | ・ | 7月 | 仲間や友達を大切にしよう |
| 8 | ・ | 9月 | 健康なからだをつくろう |
| 10 | ・ | 11月 | スポーツや読書に親しむ |
| 12 | ・ | 1月 | 物を大切にす |
| 2 | ・ | 3月 | 規則正しい生活をする |

指導のねらい

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 生活指導<ul style="list-style-type: none">・ 基本的生活習慣を身につける・ 整理整頓の習慣を身につける・ 役割分担は責任を持って果たす・ 礼儀作法を身につける・ 環境美化を心掛ける2. 学習指導<ul style="list-style-type: none">・ 基礎学力を習得する・ 個々の能力を発見し自信をもたせる・ 学校との連携を密にする・ ボランティアを活用する | <ol style="list-style-type: none">3. 保健衛生<ul style="list-style-type: none">・ 衛生の習得を身につけ常に清潔を心掛ける・ 季節に合った衣・食・住環境作りに配慮する・ 感染症及び食中毒の予防を心掛ける4. 教養娯楽<ul style="list-style-type: none">・ 社会への参加を積極的に行う・ 情緒の安定を図る・ 個々の再発見を図り認識する・ 地域との交流を促進する |
|--|--|

令和 5 年度 年間行事計画

月	園内行事	実施場所	対象児	地域・学校行事	実施場所	対象児
通 年	・誕生会（毎月）	交流室	全員	・全市一斉清掃	園周辺	全員
	・居室炊飯（年10回程度）	各居室	全員			
	・居室行事（年数回）	各居室	全員			
	・避難消火訓練（毎月）	園内	全員			
	・誕生外食（1回）	園内	全員			
	・園外保育（年5回）	各地	幼児			
	・ボランティア受け入れ ひまわり会 他	園内ほか	全員			
4	・居室編成		全員			
5	・園ハイキング	篠井 榛名山	全員	・篠井小学校運動会	篠井小	小学生
6	・幼児健康診断	櫻井内科診療所	幼児	・晃陽中学校体育祭	晃陽中	中学生
7	・ボランティア パーベキュー	園内	全員	・篠井地区 ソフトボール大会	篠井小ほか	中高生
8	・プール行楽 ・七夕 ・お盆供養	那須野が原プール 園内 園内	全員 全員 全員			
9	・お彼岸供養	園内	全員	・篠井地区体育祭 ・篠井地区敬老会 さんらく太鼓演奏	市民センター グラウンド 宇都宮市 冒険活動センター	全員 小学生 ほか
10						
11	・七五三祝い ・全児童健康診断 ・インフルエンザ予防接種	市内護国神社 園内 園内	該当児 全員 全員	・篠井地区秋祭り（11/3） さんらく太鼓演奏 ・篠井小 かさまつ祭	市民センター グラウンド 篠井小	小学生 ほか 小学生
12	・クリスマスお楽しみ会 ・クリスマス 夕食会 ・ボランティア 餅つき	交流室 各居室	全員 全員	・青少年巡回指導員訪問	園内	小学生
1	・初詣	市内護国神社	未帰省児	・育成会たこ揚げ大会	市民センター グラウンド	小学生
2	・節分豆まき（2/3）	園内	全員	・輪王寺「節分会」（2/3）	輪王寺	幼児
3	・卒園生を送る会 ・お彼岸供養	交流室 園内	全員 全員	・篠井地区 うどん祭り さんらく太鼓演奏	市民センター 駐車場	小学生 ほか

令和5年度 当初予算

令和5年4月1日

(単位:円)

勘定科目		前年度予算額	当初予算額	増減
事業活動に よ	収入			
	児童福祉事業収入	243,376,000	246,537,000	3,161,000
	措置費収入	236,268,000	242,217,000	5,949,000
	事務費収入	201,493,000	208,044,000	6,551,000
	人件費	190,657,000	197,177,000	6,520,000
	管理費	10,836,000	10,867,000	31,000
	事業費収入	34,775,000	34,173,000	-602,000
	その他の事業収入	7,108,000	4,320,000	-2,788,000
	補助金事業収入	3,288,000	500,000	-2,788,000
	受託事業収入	100,000	100,000	
	その他の事業収入	3,720,000	3,720,000	
	経常経費寄附金収入	1,600,000	5,100,000	3,500,000
	経常経費寄附金収入	1,600,000	5,100,000	3,500,000
	共同募金	600,000	100,000	-500,000
	輪王寺交付金		4,000,000	4,000,000
	その他の寄附金	1,000,000	1,000,000	
	受取利息配当金収入	100,000	100,000	
	受取利息配当金収入	100,000	100,000	
	その他の収入	2,755,000	2,755,000	
	受入研修費収入	200,000	200,000	
	利用者等外給食費収入	2,505,000	2,505,000	
	職員給食費収入	2,500,000	2,500,000	
	その他の収入	5,000	5,000	
	雑収入	50,000	50,000	
	その他の収入	50,000	50,000	
	事業活動収入計(1)	247,831,000	254,492,000	6,661,000
	支出			
人件費支出	177,244,000	185,936,000	8,692,000	
職員給料支出	94,598,000	91,178,000	-3,420,000	
基本給	78,042,000	73,710,000	-4,332,000	
扶養手当	1,026,000	1,164,000	138,000	
通勤手当	2,050,000	2,200,000	150,000	
超過勤務手当	1,500,000	1,500,000		
管理職手当	1,131,000	1,136,000	5,000	
住居手当	3,163,000	3,439,000	276,000	
宿直手当	1,500,000	2,065,000	565,000	
基幹的職員手当	360,000	360,000		
処遇改善手当	4,638,000	5,604,000	966,000	
特別処遇改善手当	1,188,000		-1,188,000	
職員賞与支出	24,716,000	24,318,000	-398,000	
非常勤職員給与支出	32,430,000	44,440,000	12,010,000	
嘱託医手当	360,000	360,000		
その他の非常勤給与	32,070,000	44,080,000	12,010,000	
退職給付支出	1,500,000	1,500,000		
法定福利費支出	24,000,000	24,500,000	500,000	
事業費支出	45,655,000	47,592,000	1,937,000	
給食費支出	13,000,000	14,500,000	1,500,000	
医薬品費支出	10,000	10,000		
保健衛生費支出	400,000	280,000	-120,000	
医療費支出	200,000	220,000	20,000	
被服費支出	1,500,000	1,300,000	-200,000	
教養娯楽費支出	2,000,000	1,800,000	-200,000	
日用品費支出	1,600,000	1,500,000	-100,000	
本人支給金支出	1,800,000	1,800,000		

令和5年度 当初予算

令和5年4月1日

(単位:円)

		勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減		
る	収	水道光熱費支出	7,500,000	9,500,000	2,000,000		
		消耗器具備品費支出	500,000	400,000	-100,000		
		保険料支出	300,000	170,000	-130,000		
				賃借料支出	700,000	770,000	70,000
				教育指導費支出	10,875,000	10,422,000	-453,000
				義務教育費	1,200,000	1,560,000	360,000
				高校等教育費	2,800,000	2,100,000	-700,000
				学校給食費	1,712,000	1,712,000	
				見学旅行費	363,000	750,000	387,000
				入進学支度費	1,800,000	1,300,000	-500,000
				その他の教育費	3,000,000	3,000,000	
				就職支度費支出	850,000		-850,000
				車輛費支出	600,000	1,100,000	500,000
				こども手当費支出	3,720,000	3,720,000	
				雑支出	100,000	100,000	
				事務費支出	12,992,000	14,794,000	1,802,000
				福利厚生費支出	1,400,000	1,450,000	50,000
				旅費交通費支出	100,000	100,000	
				研修研究費支出	100,000	100,000	
				事務消耗品費支出	1,000,000	1,000,000	
				印刷製本費支出	10,000	10,000	
				水道光熱費支出	900,000	1,100,000	200,000
				修繕費支出	2,000,000	2,000,000	
				通信運搬費支出	600,000	600,000	
				広報費支出	200,000	200,000	
				業務委託費支出	2,800,000	3,770,000	970,000
				手数料支出	300,000	300,000	
				保険料支出	1,300,000	1,650,000	350,000
				賃借料支出	1,300,000	1,300,000	
				租税公課支出	100,000	100,000	
				保守料支出	300,000	570,000	270,000
				雑支出	582,000	544,000	-38,000
				その他の支出	2,500,000	2,500,000	
		利用者等外給食費支出	2,500,000	2,500,000			
		職員給食費支出	2,500,000	2,500,000			
		事業活動支出計(2)	238,391,000	250,822,000	12,431,000		
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	9,440,000	3,670,000	-5,770,000		
施設整備等による収支	収	施設整備等寄附金収入		2,800,000	2,800,000		
		施設整備等寄附金収入		2,800,000	2,800,000		
		施設整備等収入計(4)		2,800,000	2,800,000		
	支	固定資産取得支出		9,010,000	9,010,000		
		建物取得支出		5,000,000	5,000,000		
		車輛運搬具取得支出		2,800,000	2,800,000		
	その他の取得支出		1,210,000	1,210,000			
	施設整備等支出計(5)		9,010,000	9,010,000			
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-6,210,000	-6,210,000			
その他の活	収	積立資産取崩収入		5,000,000	5,000,000		
		施設整備等積立資産取崩収入		5,000,000	5,000,000		
		その他の活動収入計(7)		5,000,000	5,000,000		
	支	積立資産支出	9,440,000	3,000,000	-6,440,000		
退職給付引当資産支出		3,000,000	3,000,000				

令和5年度 当初予算

令和5年4月1日

(単位:円)

勘定科目		前年度予算額	当初予算額	増減
動 による 収 支	出			
	修繕積立資産支出	6,440,000		-6,440,000
	その他の活動支出計(8)	9,440,000	3,000,000	-6,440,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-9,440,000	2,000,000	11,440,000
予備費支出(10)				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			-540,000	-540,000
前期末支払資金残高(12)			540,000	540,000
当期末支払資金残高(11)+(12)				